

窓辺

自治体病院は
どうあるべきか

毛利 博

変な衝撃です。

自治体病院の役割は何でしょう。地域の医療機関や行政との連携を図り、医療を過不足なく公平・公正に提供し、地域住民の健康の維持と増進に貢献することを目指すとされています。ところが自治体は、病院という「箱もの」をつくれば何とかなると考えてきた節があります。しかし、医師不足が顕在化する中、それだけでは対応できなくなっています。

自治体病院は市町が中心に運営しています。市町も

行政、病院は地域住民の健康を守る責務があります。診療の継続が困難になる事態を想定しながら、医療が混乱しないように今から議論を重ねる必要があります。まだ打つ手は残されています。行政と病院が医師不足、医師の地域偏在、人口減少などの現実を直視し、自治体病院の将来を考え、自治体病院の将来を確保することです。鍵は「地域医療の継続と連携」です。そのためには病院が自立性と主体性を発揮できるように、地域住民を巻き込んで地域医療を考える時が来ます。

（県病院協会 会長）
藤枝市病院事業管理者